

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 12 月 10 日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|---|-----------|--|
| 事業所番号 | 3471502447 | | |
| 法人名 | 佐々木産業有限会社 | | |
| 事業所名 | グループホーム あげぼのあゆみホーム | | |
| 所在地 | 〒721-0952 広島県福山市曙町五丁目5番25号 (電話) 084-954-5704 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年11月17日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3471502447-00&PrefCd=34&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 平成27年12月4日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|--|
| <p>庭には季節の野菜を植えたり、散歩していただけるスペースを確保することで、閉鎖的にならないよう工夫しています。</p> <p>バリアフリーの平屋建てに2ユニットあり、ユニット間を自由に行き来することができるため、入居されている方の状態に合わせて、新しい人間関係を構築できます。</p> <p>嫌がることは無理強いせず、様子を見ながら声掛けし、出来ることは見守り、難しいことはお手伝いすることで、利用者の人格の尊重、またより快適に安全に生活していただけるよう支援しています。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| <p>ホーム建設前に代表者が海外（北欧デンマーク）を視察され、それを参考に、災害時など住環境のことを踏まえ、平屋建てにした経緯がある。ホーム内は、車いす使用者でも十分のスペースがあり、毎日の掃除により、快適で清潔に保たれている。敷地内には、畑があり、家庭菜園をされ、育てた野菜を食事に活かしている。利用者の個々の役割（洗濯物干し、洗濯物たたみ、作品づくりなど）を活かし、何事をする時も、利用者と職員が共同で行っている。地域との関わりを密にし、地域からの訪問者や協力者が増えている状況である。災害対策では、南海トラフ大地震に備え、ホームの敷地を活用し、避難場所として高台設置を行政などと連携しながら準備をされていた。管理者は、地域との関わりに重点を置き運営されていたが、今後は、業務改善（記録整備など）・人材育成づくりと利用者のケアの充実に、より一層力を入れていきたいと考えている。</p> |
|--|

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 以前からある基本理念とは別に、職員全員で話し合っただけでできた2か条を、毎日唱和して現場に入っている。 | 職員全員でつくり上げた“2か条”を共有することで実践に繋げている。管理者と両ユニット主任との定期的な話し合いを行い、理念に関して、維持・向上する取り組みをしている。 | 職員の個人目標をつくりあげることが必要と思われます。取り組みとしては、①職員の個別面談を行い、就業環境の充実を図る。②目標を設定することにより、理念に関しての更なる意識が維持・向上する。①②の取り組みづくりをされることを望みます。 |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 町内会の行事にも出来るだけ参加している。町内一斉掃除や盆踊り、文化祭等に参加させていただいている。防災訓練にも共同参加していただいている。 | 町内行事（夏祭り・秋祭り・敬老会・大掃除など）に参加している。散歩や買い物などで顔を合わす取り組みや、地域の催し物への参加をされている。また、ボランティア（百歳クラブなど）の訪問もあり、日常的に交流をしている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 運営推進会議へ町内の役員や民生委員等に出席して頂き、認知症の症状や取り巻く現状等についてご説明している。近隣の徘徊している方を地域の民生委員と保護したこともある。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 取り組みや検討している事案などを議題にあげ、頂いたご意見を職員会議で話し合い、問題の改善に繋げたり、新たな取り組みを模索したりしている。 | 参加者が集まりやすい奇数月の最終月曜日（19：00～20：00）の時間帯で行われ、多数の参加メンバーにより開催されている。毎回、議題（テーマ）を設定し、ホームでの現状報告をするなか、参加者から助言を頂いている。災害時のことを踏まえ、避難場所の高台建設の話し合いをしている。 | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | 年6回の運営推進会議には、毎回2名の参加を頂いている。ホームの実情を報告、相談し、意見をいただいている。 | 運営推進会議には、2名の方が毎回参加されている。利用状況を報告したり普段困りごとなどあれば、その都度、連絡や直接出向くなど、協力関係を築けるように努力している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>拘束にあたる事例については、予測される入居者の行動についてご家族と話し合い、経過報告をしながら、代替案を模索している。</p> | <p>新人研修および現任研修などで適宜、身体拘束について研修を行っている。現在、各種書類整備の見直しに努めており、身体拘束の記録整備の見直しを行っている。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>スタッフが交代で研修に参加し、その後ホーム内で勉強会を開くようにしている。今年は外部の研修に参加できなかったため、ユニット会議等で職員間で話し合う機会を持った。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>職員は書物やセミナー等で学ぶように心がけている。入居者それぞれの事情に合わせ、地域包括支援センターや高齢者支援課などに相談、方法を模索している。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>入居前に丁寧に説明し、理解して頂けるようにしているが、その後も質問、相談があれば、話し合うように努めている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>運営推進会議にも交代で出席してもらっているが、面会時にもしつかり話を聞くように心がけている。</p> | <p>利用時に、本人および家族の意向を把握したり、面会時などに、家族の生の声を聴くように努力されている。今月（12月）より、記録を見直し、利用者・家族から意見や要望などがあれば特記事項に記載するようにした。それらの要望を検討・改善するように努めている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 毎月の職員との定例会、その他、随時意見を聞くよう努め、課題等について協議している。 | 管理者は、職員間のコミュニケーションが大事と考え、日頃から話しやすいように努めている。業務改善や利用者の対応方法などの話し合いが多い状況である。それらの要望などは、代表者も参加される話し合いなどで協議している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 毎年、一定期限に達した職員に代表者側から意見、考え方を聴取し、管理者、代表者の評価により、給与等見直しを実施している。国の施策による改善等を実施している。資格取得者に昇給基準を設け、実施している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 経験などに配慮し、研修参加、職場内研修等実施している。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 自施設で未経験の事例等について、解決方法を相談したり、他施設での取り組みについて教えてもらったりしている。また、避難訓練や運営推進会議等に参加していただいた。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 入居前にアセスメントを行っているが、入居後も再度今後の長期的な要望等も含めて確認を行い、傾聴の姿勢を心がけ、本人の思いを受け止めるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 入居前に家族にホーム内の見学をして頂いたり、自宅に伺い、生活状況の把握、今後の不安などを聞き、必要な対応について、ご協力して頂けること、ホーム側で対応できることを話し合い、不安を取り除くよう努力している。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 入居の相談を受けた際に、他の事業所のサービスについても説明し、最適なサービスについて検討できるよう支援している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 食事やティータイム、掃除や洗濯、畑の手入れ、レクリエーション等、生活を共に楽しむ姿勢を大切にする中で、笑いあったり、労わり合ったり、感謝を伝え合ったりしながら、信頼し合える関係を築けるように努力している。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 常時、面会・外出・外泊の受け入れを行っており、お盆やお正月などは出来るだけ家族と交流を持っていただくよう支援している。また病院の受診にご家族の同行をお願いする等、連携をとっている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 馴染みの方との面会の受け入れや、馴染みの場所に外出できるよう支援している。 | 盆帰省・正月帰省と案内を出している。外泊が難しい場合は、面会をお願いしている。家族と相談しながら、協力を頂き、個人外出ができるようお願いしている。友人や知人などの訪問もみられ、今まで慣れ親しんだ人と関わるようにしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 利用者同士がお互いの居室を訪ねていけるようにしたり、隣のユニットに遊びに行けるよう介助したり、個々に合わせて対応している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | サービス利用が終了しても、どこかでご家族と会った時は、近況を尋ねるなど交友関係は続けている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々の会話、行動の中から本人が何を思い望まれているかを汲み取れる様、コミュニケーションを大切にしている。意思疎通が困難な方は、本人が何を望んでいるかを常に皆で話し合っている。 | 日々の関わりのなかで、丁寧に本人の思いを聴くようにしている。言葉や行動など、些細なことを「個別支援経過記録」に丁寧に記録され、職員全員が情報共有しながら対応している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 入居時にご家族より聞き取りを行っている。ただ単身で生活されてきた入居者が増えてきており、正確に把握する事が困難な場合もあり、本人との日々の会話から、昔の生活状況等聞き出すよう努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 個人記録に一日を通しての行動、言葉、バイタル、食事や水分摂取量、排泄のリズムを記入している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>3ヵ月に一度モニタリングを行い、介護計画の見直しが必要かどうか、全スタッフ参加のもと、ユニット会議を開いて話し合いをしている。医師からは往診時に、ご家族からは来所時に意見を頂いている。</p> | <p>本人のできる事を活かした活動や役割（洗濯物を干す、洗濯物をたたむ、作品づくりなど）づくりとなるよう、具体的な計画内容となっている。状態変化があれば、現状に即して見直しなどを実施している。利用開始時より、活動が増えた方もおられる。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>日勤、夜勤別に個人記録を記入し、スタッフ間で情報を共有している。記録を基にモニタリングを行っている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>当ホーム以外のサービスは利用していない。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>地域の夏祭り、秋祭り、文化祭にスタッフが付添い、参加している。文化祭へは習字や手芸などの作品を出品している。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>入居時にご家族の希望の上で、かかりつけ医を定めている。かかりつけ医による往診を2週間に一度受けている。急変時は24時間対応して頂ける。</p> | <p>利用者の病歴を考慮し、利用時にかかりつけ医を決めている。協力医は入院施設が整っており、往診体制（1回/2週間）と24時間の緊急時の連絡体制も整っている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p> | <p>かかりつけ医の看護師と24時間連絡が出来る体制を取っており、入居者に異変があれば指示を仰ぎ、必要であれば受診している。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時にはスタッフが付添い、情報提供を行い、入院中はご家族の不安等の相談に乗り、退院時は病院よりホームでの生活上の注意点の情報を頂いている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | <p>入居時にご家族へ十分説明し、同意を得ている。状態の変化があればその都度ご家族と相談しながら、医療機関の協力を得て、出来る限り当グループホームで支援している。</p> | <p>医療施設同様の対応は難しいため、重度化や終末期には、医療機関との連携が不可欠であり、主治医に意見を聞き、家族と検討を行っている。現在、「看取りに関する指針」の書類を準備されている。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p> | <p>利用者の急変や事故発生時に対応する為、ユニット会議などで話し合い、全てのスタッフが行動できるようにしている。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p> | <p>年2回、防災訓練を実施し、スタッフ、利用者全員参加で行っている。訓練には近隣、地域の方にも参加して頂いている。</p> | <p>訓練前には、回覧板で町内に配布し、近隣住民の協力者が年々増えている状況である。災害の発生に備えて、備蓄関係も準備されていた。災害対策として、南海トラフ大地震のこともあり、災害時の避難場所として、ホーム裏に高台建設の準備を行政などと連携しながら準備されている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 多様な人格、欲求を理解、尊重し、相談や意向をくみとる様努力している。プライバシーが保てるよう声かけ等に配慮している。 | 各ユニットの主任職員が講師となり、社内研修をされている。介護労働安定センターの担当者も訪問され、職員個々のストレス度合などの勉強会もされていた。居室訪室時には、必ず声掛けをするなど、当たり前のことを徹底している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | コミュニケーションを取り、思いを表に出しにくい利用者には、こちらから二者択一の質問などをし、待つことで思いを汲み取っている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | その日の気分、体調に応じて、その人らしい過ごし方について意見などを聞き、希望に沿えるよう支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 気温や体調に合った洋服を着用して頂くように支援している。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 重度化のため、調理に参加してもらうことは難しいが、食材や彩り、味覚で楽しんで頂けるよう工夫している。 | 昼・夕の副食（おかず）は外注にて食材がホームに届いている。毎週土曜日は、3食手作りで提供され、ホームの菜園で育てた野菜を利用して、食事に活かすこともある。利用者の能力に応じて、食事の下準備などされ、食事が楽しめるように工夫している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p> | <p>体調や個々の状態に合わせて、口に運ぶスピードを調節したり、トロミをつけたりしている。誤嚥を防ぐ為、一度に飲めない人は数回に分けて飲んでもらう等して、必要な水分量を確保している。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | <p>食後口腔ケアを行い、夜間は義歯を外し、入れ歯洗浄剤に漬けている。声掛けにて見守りし、必要に応じて介助している。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | <p>一人一人の排泄パターンを把握し、個々の状態に応じてトイレ誘導を行っている。</p> | <p>トイレでの排泄を基本とした支援をしている。トイレは、1ユニット（定員9名）に3箇所有り、3箇所共に、車いす使用者でも可能なスペースを確保している。適切な水分補給、体操などを取り入れ、便秘予防に取り組んでいる。</p> | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | <p>排便チェックを行い、記録し、水分補給や運動を心がけている。一人一人の排便の時間を把握し、トイレ誘導や腹部マッサージ等を行っている。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>声掛け等、コミュニケーションを図りながら、楽しめる様心がけている。室温や湯温を調節しながら、ご本人のペースに合わせた入浴を支援している。</p> | <p>利用者の重度化により、湯船に浸かる方が少なくなっているが、週3回の午後入浴をされている。入浴日以外の日も、全身清拭を行い、皮膚トラブルの予防に努めている。乾燥肌にならないように、保湿剤を使用されている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p> | 一人ひとりの状況により、臥床を促したり、夜間の安眠の支援や寝具や室温調節をしている。 | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> | 個々の薬の目的や用法について理解しており、間違えない様に細心の注意を払っている。往診や受診の内容や処方薬の変更については、申し送りでも共有している。 | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p> | 利用者が楽しみを見つけられ、生きる喜びを感じ合えるように、楽しみ事、気分転換の支援をしている。（洗濯たたみなどの日課、歌、散歩、行事など） | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | 個々の状態に合わせて屋外を散歩したり、時々、車で買い物に同行支援している。ご家族と外泊、外出、食事に出掛ける方もいる。 | 毎年企画として“福山城の菊花展”に全員外出されている。重度化により、外出の頻度が少なくなっているが、両ユニットを行き来したり、テラスで過ごすこともあり、季節を感じて頂く取り組みをホーム内でされている。 | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p> | 買い物に同行時、支払いやお釣りの受け取り等、利用者の認知度の状態に合わせて支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 利用者が重度化してきており、ご家族とのやりとりも職員を介して行われている。手紙は喜ばれるが、返信は難しい。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 頂いたお花を飾ったり、レクリエーションで製作した物を飾ったりしている。カーテンや窓の開閉、エアコン、加湿器などで調節もしている。 | 利用者と職員が共同で、毎日の掃除や壁面には季節毎の飾り付けを作成され飾られている。職員も穏やかな対応に心掛け、利用者一人ひとりが心休まり我が家のように生活されている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 車椅子やシルバーカーでも出来るだけ行き来しやすいよう、ソファやテーブルの位置に配慮している。気の合う利用者同士で、ソファでお茶を飲みながら、TVを観たり、談話したりすることもある。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ご家族にもご協力頂いて、慣れ親しんだ物や好みの物を使ったり、飾ったりできるよう支援している。また本人が作った作品などの飾りつけも行っている。 | 車いす使用者でも十分なスペースが確保されている。本人が安心して過ごせる場所となるよう、本人や家族と相談しながら、自由に物品などを持ち込まれている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 動きやすさ、分かりやすさ、使いやすさを考慮し、場所の表記や物の配置、記名など工夫している。自主的に行動されている時には見守り、アドバイス等の支援をしている。 | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|--|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | <input type="radio"/> | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|-----------------------|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|-----------------------|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 GHあけぼのあゆみホーム

作成日 平成 28年 2月 3日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|-----------------------------------|--|------------|
| 1 | 1 | 職員全員で理念を唱和し、徹底を図っているが、具体的に実践に繋げるようにしたい。 | 職員一人ひとりの個人目標を定め、理念が実践に繋がるようにしていく。 | ①職員の個別面談の時間の確保。 ②個人目標を決め、定期的に振り返る機会を作る。 | 1年 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。